

改革工程表2(年度別実行計画)

会計名及び部局・課名	医療大学付属病院特別会計	保健福祉部厚生総務課
改革遂行責任者	保健福祉部長・厚生総務課長 総務部長・財政課長	

改革方針	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
<p><b>【1 付属病院の基本的方向の検討】</b> ○大学の付属施設としての機能強化及び県内リハビリテーション医療の中核的機能の充実を図る</p> <p>(県内リハビリテーション医療の現状、診療報酬制度を踏まえ、付属病院の進むべき方向性について検討する)</p>	<p>進むべき方向検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大学の付属施設としてのあり方や経営形態の検討</li> <li>土日リハ実施の検討</li> <li>診療報酬改定への対応</li> <li>病棟運営に関する検討等</li> </ul>	<p>取りまとめ (フィードバック)</p>		<p>経営改善に向けた検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大学の付属施設としてのあり方等の検討</li> <li>365日リハ実施の検討</li> </ul>	
<p><b>【2 アクションプランの推進】</b> ○大学と病院を一体として効率的・効果的に運営していくとともに、アクションプランに基づく経営改善を推進しながら、支出の削減、収入の確保を図り繰入金金を縮減していく</p>		<p>第1次アクションプランの検証・見直し</p> <p>第2次アクションプランの策定</p>	<p>第2次アクションプラン(H24～H28)の推進・進捗管理、検証・見直し</p>	<p>第2次アクションプランの一部改訂</p>	<p>第2次アクションプラン改訂版(H26～H30)の推進・進捗管理</p>
繰入金金の縮減					
<p><b>【教育研究機能の充実】</b> 医療大学学生の実習機会を拡大することにより教育研究機能の充実を図る</p>	<p>(前)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す ・実習機会の拡大</p> <p>H23までの目標:実習時間5,500時間(25%)増</p> <p>(目標)3,898時間増</p> <p><b>[ 3,946時間増 (18.2%) ]</b></p>	<p>H23までの目標:実習時間5,500時間(25%)増</p> <p><b>[ 5,596時間増 (25.4%) ]</b></p>	<p>H23末までに目標達成し5,500時間(25%)増を維持(=年間実習時間27,500時間)</p> <p><b>[ 2,566時間増 (11.6%) ]</b></p>	<p>H23末までに目標達成し5,500時間(25%)増を維持(=年間実習時間27,500時間)</p> <p><b>[ 4,920時間増 (22.4%) ]</b></p>	<p>H23末までに目標達成し5,500時間(25%)増を維持(=年間実習時間27,500時間)</p> <p><b>[ 5,686時間増 (25.8%) ]</b></p>
<p><b>【政策的なリハビリテーション医療の推進】</b> 平成21年度から創設した研修士制度によりリハビリテーション実施率の向上を図る</p>	<p>(前)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す ・療法士の人的充実 ・患者1人あたりのリハビリテーション実施率の向上</p> <p>H23までの目標:療法士の充足、実施率79.8%</p> <p>◆ 研修士4人増員 目標リハ実施率:73.2%</p> <p><b>[ 研修士1.8人増(5.8人) リハ実施率:66.0% ]</b></p>	<p>H23までの目標:療法士の充足、実施率79.8%</p> <p>◆ 研修士4人増員</p> <p><b>[ 研修士0.6人減(3.4人) リハ実施率:64.9% ]</b></p>	<p>(第2次)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す</p> <p>(目標)療法士の充足:リハ実施率の向上(土日リハの実施によるリハ医療の向上) 政策的リハ医療(重度障害者(児)、発達障害児、高次脳機能障害)の推進</p> <p>研修士制度の検証・見直し</p> <p><b>[ 研修士採用枠8人(8.0人) ]</b></p>	<p>(第2次)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す</p> <p><b>[ 研修士採用枠12人(11.5人) ]</b></p>	<p>(第2次)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す</p> <p><b>[ 研修士採用枠12人(11.4人) ]</b></p>
<p><b>【経営改善の推進】</b> 地域医療連携部をより一層強化し、急性期病院からの患者の確保に努める</p>	<p>(前)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す ・病床利用率の向上</p> <p>H23までの目標:病床利用率(全体)85%</p> <p>(目標)75%</p> <p><b>[ 病床利用率:77.3% ]</b></p>	<p>H23までの目標:病床利用率(全体)85%</p> <p><b>[ 病床利用率:79.0% ]</b></p>	<p>(第2次)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す</p> <p>H28までの目標:病床利用率(全体)85%</p> <p>(目標)80%</p> <p><b>[ 病床利用率:76.9% ]</b></p>	<p>H28までの目標:病床利用率(全体)85%</p> <p>(目標)82%</p> <p><b>[ 病床利用率:83.0% ]</b></p>	<p>H28までの目標:病床利用率(全体)85%</p> <p>(目標)83%</p> <p><b>[ 病床利用率:83.3% ]</b></p>
「脳卒中地域連携バス」の運用、連携病院との意見交換会、急性期病院への空床情報の提供					

※注 ◆--- [ ] は対応時期(◆)が明確な事項を表示、

[ ] は目標達成状況

⇔ は改革期間及び推進事項を表示

改革工程表2(年度別実行計画)

団体(会計)名及び部局・課名	医療大学付属病院特別会計	保健福祉部厚生総務課
改革遂行責任者	保健福祉部長・厚生総務課長 総務部長・財政課長	

改革方針	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
<b>【1 付属病院の基本的方向の検討】</b> ○大学の付属施設としての機能強化及び県内リハビリテーション医療の中核的機能の充実を図る	医療大学新改革プランの策定 ・ワーキングによる課題抽出	・外部有識者による検討  (フィードバック)			
<b>【2 アクションプランの推進】</b> ○大学と病院一体として効率的・効果的に運営していくとともに、アクションプランに基づく経営改善を推進しながら、支出の削減、収入の確保を図り繰入金を縮減していく		第2次アクションプラン改訂版(H26~H30)の検証・見直し 第3次アクションプランの策定	第3次アクションプラン(H29~H33)の推進・進行管理、検証・見直し		
	繰入金の縮減				
<b>【教育研究機能の充実】</b> 臨床教育講師を中心とした実習システムの充実を図る	(第2次)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す ・臨床実習体制の強化  目標:臨床教育講師数(平成30年度までに42人)  (目標)38人	(第3次)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す   (目標)39人	(目標)臨床教育講師数の更なる向上		
<b>【政策的なリハビリテーション医療の推進】</b> 平成26年10月から回復期病棟において開始した365日リハビリテーションにより、リハビリテーション医療の充実を図る	(第2次)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す ・回復期病棟における患者1人あたりのリハビリテーション実施単位数の向上  目標:回復期病棟における患者1人あたり実施単位数7単位 リハ実施単位数の向上(365リハによるリハ医療の向上)	(第3次)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す   (目標)リハ実施単位数の更なる向上			
<b>【経営改善の推進】</b> 地域医療連携部をより一層強化し、急性期病院からの患者の確保に努める	(第2次)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す ・病床利用率の向上  目標:病床利用率(全体)85%  (目標)84%	(第3次)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す   (目標)病床利用率の更なる向上			
	「脳卒中地域連携パス」の運用、連携病院との意見交換会、急性期病院への空床情報の提供				

※注 ◆--- は対応時期(◆)が明確な事項を表示、 ⇄ は改革期間及び推進事項を表示